

「名取市の在宅医療についてのシンポジウム」

参加者アンケート 結果

- ・開催日時：2020年10月12日(月) 19：00～
- ・開催方法：Zoom
- ・申込ID数：65 申込人数：95名
- ・アンケート回答数：48名

1、今回のシンポジウムの内容を聞いて訪問診療を行うクリニックが増えた方がいいと思いますか？

① とても思う	② 少し思う	③ どちらとも いえない	④ あまり 思わない	⑤ 思わない	無効・ 無回答	合計
32	12	3	1	0	0	48

2、在宅医療の現状や課題を聞いて、ご自身が思うところを教えてください。

〈介護関係者〉

- 受診に行けなくなった場合、在宅医療をしてもらえると思うと心強いです。先生も忙しいところを往診していただけるのはありがたいです。
- 先生方は診療の合間の昼休みに往診していることが多く、頭が下がります。
- 本業がある中、訪問診療もしていただき、先生方の大変さを知ることができました。今後、訪問診療を必要とする人は多くなると思うので、訪問診療に尽力される先生が増えて欲しいと思いました。
- 空いている時間に往診する等、大変な中先生方も患者さんや家族の要望を極力尊重しながら行っていることに感銘を受けました。訪問診療が増えることで選択肢は増えるが、各クリニック毎実情が違うため、どのように選んだら良いか訪問曜日や時間帯などを把握していないと難しそう。訪問看護も事業所により進め方が違うことから、実際に往診をお願いすることになった場合の、訪問看護事業所の選定も本人家族の意向だけでなく、場合により先生方にも意見を聞いたり確認は必要だと感じました。
- 医師のマンパワーをいかに周りがサポートしていくかだと思います。
- ケアマネジャーとの連携はどうしても書類が多いです。やはり医療は敷居が高く感じます。
- 訪問看護との連携の重要性を改めて認識しました。
- 24時間連絡体制ではありますが、すぐ診療できる体制づくりは大変難しい現状だと感じました。
- 思ったより多くの方が在宅医療を利用しているんだなと思いました。
- 以前、他地域で具合が悪く医師に連絡したところ「外来もやっているので連れてきなさい」

と言われ矛盾を感じたことがありました。でも今回の小林先生の10/1から外来は午前中のみ午後は訪問診療とのお話を伺って、色々変わってきていると感じました。

- 体調管理をしっかりしてお互い予防に努め、継続的に支援していきたいと思います。分からない点は多職種との連携をしっかり図っていききたいです。
- 今後も少子高齢化の折、在宅医療などは増えていきますが、新型コロナなどの新しい状況が次々と生まれてくると予想されます。そのために逐次懇談会を開催していただき、情報共有できればありがたいと思います。
- 往診の先生の負担が増えないように、日ごろから夜間・休日の対応方法について考えておく必要があると感じました。
- 医療と介護、利用者に関する様々な情報を各職種の皆さんが共有する（できればリアルタイムに）方法があれば、もう一步進んだ連携につながるような気がします。
- コロナ禍において持病をもつ患者の1/4が通院を辞めており、重篤化しているケースもあると聞いています。以前より在宅医療が充実することで、通院できない、控えている患者さんが安心して在宅での生活が可能になると思われます。
- 外来の合間を縫って訪問診療を行うことの大変さを改めて感じました。利用者の疑問・質問を集めるなど、ケアマネジャーにもできることは行っていききたいと思います。
- クリニックを外来受診していて通院が困難になり、往診を受けられれば同じ医師に診てもらえるのが理想です。一方で外来を利用していない方や距離がある方だと往診の依頼ができない場合が多いのだと理解しました。
- もともとの患者で外来が困難になってきた場合に訪問の提案（意向確認）というのが一般的とのこと、総合病院をぎりぎりまで受診している自地域高齢者の訪問診療への切替は今後も課題だなと感じました。
- 先生方のお話を伺い、外来診療の傍らに往診に行かれている現状を踏まえ、まず先生のお体が心配になりました。数人の先生方が交代で在宅医療ができれば良いと感じました。
- 訪問診療は医師にとって負担が大きいと思うが、患者さんの生活全体を診ることになっていくと思うので、とても良いシステムに思えました。
- ニーズはあるが受入れできる量が少ないと感じました。
- 閑上にも訪問していただける在宅医療の医師が増えるといいと感じました。
- 在宅を望む方が多くなってきているので、在宅医療を行う医師が増えるのを期待しています。

〈医療関係者、その他〉

- 患者や家族の希望と在宅診療側の意向が異なることがあり、折り合いをつけるのが難しいで

す。

- 在宅で看取りまでやってほしいし、やっていきたいです。
- いろいろな方々の連携で行われていることを改めて実感しました。薬剤師ももっと積極的に関りを持たてほしいなと思いました。
- 患者様やご家族が期待する在宅の形と提供できる内容のマッチングが大切だと思いました。どの医師とつなげるのかケアマネジャーの情報量も大切だと思いました。
- 患者さんとの意思の疎通が難しく大変な業務と捉えています。
- 4〜5名の先生は頑張っているのが分かりましたが、医師会全体はどうなのでしょう。
- 開業医の先生が、外来診療と在宅医療を24時間行うのには限界があると思います。どこに住んでいても在宅医療を受けることができれば良いと思いますが、それも難しいのが現状です。
- 些細なことでも報告を行い連携を強化し、問題を共有していくことが大切であると感じました。
- 限られた時間の中で在宅診療を実施してくださる先生方に感謝です。私たち看護師も医師と連携を取っていかねばならないと思います。
- 今回参加して先生方の考えや地域医療の現状について、多く学ぶことができました。訪問時の状態を記入するノートを用意していますが、先生方が見ていることが分かり、今後はもっと詳しく書こうと思いました。共通の様式があった方が良いのかどうか…。
- 高齢化がますます進む中で在宅での医療や介護が増えていくと思うのですが、ご本人そしてご家族が心身ともに安心して過ごせるために、私たちの役割も重要になってくると改めて思いました。
- 医師との連携の困難さを感じます。
- 在宅医療について本人・ご家族の不安が大きいと思うので、その不安を和らげるため治療方法や万が一の場合の対応などをしっかり説明して、理解していただくことが大切と感じました。
- 外来診療を行いながら在宅医療を行う厳しさを確認しました。地域で支える体制作りが必要です。
- 提供する病院数、病院間の連携など提供体制に多くの課題があると感じました。
- 先生方が外来診療を行いながら訪問診療をすることの大変さを改めて感じました。医師同士の連携、医師とケアマネ・訪問看護のコミュニケーション不足が解消すると在宅医療が推進するのではないかと感じました。

- 訪問診療をそれ以外の専門職の繋がりがより深くなることで、在宅医療の現場での連携につながると改めて感じました。
- 在宅医療の充実を目指すのであれば、一人の医師が個人対応をする現在の方法では限界があると思います。地域の在宅医療をどのようにしていきたいかで今後のシステムを構築していかなければならないと考えます。
- 在宅医療に携わる医師の負担（拘束時間など）が大きすぎるように思います。

3、今回のシンポジウムを聞いて、訪問診療の依頼ができるようになりましたか？

① できる	② 少しは できる	③ わからない	④ あまり できない	⑤ できない	無効・ 無回答	合計
21	12	12	2	0	1	48

4、今回の開催方法（ZOOM）は一堂に会する研修会と比べて話のわかりやすさや参加のしやすさはいかがでしたか？

① とても良い	② 良い	③ 普通	④ 悪い	⑤ 非常に 悪い	⑥ わからない	無効・ 無回答	合計
8	24	13	3	0	0	0	48

5、ケア会議（サービス担当者会議）の開催・参加について教えてください。

① 積極的	② やや 積極的	③ 必要最低限	④ やや 消極的	⑤ 消極的	⑥ ケースバイ ケース	無効・ 無回答	合計
6	17	11	1	0	10	3	48

6、今後も医療と介護の連携に関する研修会を開催したいと思います。ご希望のテーマがあれば教えてください。

〈介護関係者〉

- 稀なケースを対応したした時の解決の方法と結果の紹介。
- 医療側から介護側（ケアマネジャー）に望むこと。
- 医師との書類のやり取りの流れや、依頼方法など、病院毎のやり方について、近隣の病院の相談員さんなどを呼んで情報を頂くような研修。（電話での依頼で良いのか、来院なのか、直接先生宛に書類を送って良いのか、連携室を通してなのか、返信方法はどうかなど）
- 医師とケアマネジャーの連携を事例などを交えながら。
- ケアマネジャーとの連携の仕方（ケアマネジャーが医療に望むこと、医療がケアマネジャーに望むことなど）
- 医療ソーシャルワーカーと介護支援事業所などとの連携について。
- 医師にケアマネジャーや包括が確認する事項について伝える機会があると良いと思います。
- 意見交換による必要な福祉用具の開発、リハビリや医療介護の最新技術の習得、新たに注意すべき最新事項。
- 虐待とその対応について。
- 医療系の多職種（医師と訪問看護師）だけでなく、各専門職の連携が増えるような意見交換が進めば地域住民への福祉サービスの向上に繋がると感じます。介護従事者が苦手とする医療系の知識向上、認知症の最新の話（制度や治療法、地域で処方される薬剤について）など。
- 同じテーマで第二弾を。
- 医師と直接対話できるオンライン研修は興味深かったので、次回も期待します。

〈医療関係者、その他〉

- 歯科訪問診療との連携について。
- 医療と介護の顔が見えるかたちでの情報共有と体制づくり、またお互いが求める情報について。
- 切れ目ない提供体制の理想像について。
- お薬の服薬・管理について。
- 在宅患者に処方される薬剤の取扱いに関する困難事例。

7、名取市医療・介護連携支援センターに期待する役割を教えてください。

34	① 医療機関・介護事業所への情報提供
----	--------------------

30	② 地域の医療・介護関係者が現状と課題を共有する場の創出
28	③ 在宅医療と在宅介護が切れ目なく提供できる体制の構築
15	④ 医療・介護関係者の情報共有ツール（二市二町連携シートなど）の活用促進
25	⑤ 医療・介護関係者の相談支援
28	⑥ 医療・介護関係者を対象とした研修会の開催
22	⑦ 在宅医療・在宅介護についての市民への普及・啓発
1	無効・無回答
183	合計

8、その他、ご意見や感想がございましたらご自由にお書きください。

〈介護関係者〉

- 今回の研修では先生方の話を聞け大変面白かったです。ZOOMだったので、発表する方の表情などが見えたのも良かったと思います。ただ2時間だったので、途中で休憩を入れてもらいたかったです。疲れました。今後もZOOMで開催していただく方が、先生方の負担も軽減できるのではないのでしょうか。
- 今回はZOOMを利用して参加させていただきましたが、会場に集まらなくともよく自宅で参加できたので、時間の拘束がなく大変良かったです。できれば今回のように、包括や市役所の研修もネットの活用を希望します。
- 先生方から訪問診療の現状を聴く機会がなかった私にとっては、とても有意義な機会になりました。先生側から介護現場へ望むことも聞け、今後医療と介護の連携を図る上で貴重なご意見を聞くことができました。
- 訪問診療の状況などをお聞きすることができ、初めて知る内容や各先生方がどのような思いで進めていらっしゃるかが分かりました。しかし訪問診療をお願いする場合、どの先生にお願いし、訪問看護などの事業所とマッチングさせた方が良いのかは今後も悩みどころと感じました。先生方をはじめ関係者に助言を頂きながら、ケアマネジャーとしても介護者がギブアップせず利用者が在宅生活を継続できるような支援をしていければと感じました。ケア会議に先生方も参加していただけるような工夫もケアマネジャーとしては必要だとも感じました。WEBでの研修の場合、質問など何となくしにくいと感じました。集合研修の場合は、多少のことであれば研修終了後に直接聞けたりします。良い機会を頂きありがとうございます。別な研修があればぜひまた参加させていただきたいと考えております。

- 講話の内容がわかりやすく、ZOOM開催なのもよかったです。また企画をよろしく願います。
- 初めてZOOMでの研修に参加しました。とても勉強になりました。
- ZOOMでの研修会は考えていたより分かりやすかったです。高齢化・一人暮らしの高齢者の増加が進む中で、在宅医療・在宅介護の必要性はますます高まると思います。今後の体制づくりをよろしく願います。
- 初めてWEB開催での研修会に参加し、先生方の意見が聞いて良かったと思います。時々ハウリングしたり、画面が見えにくいことがありました。今後とも医療と介護の連携が進むような研修会が増えると良いと思います。
- 初めてのWEB会議だったので慣れない部分はありましたが、参加しやすく、先生方の話も参考になりました。今回の先生方の訪問可能時間など頂けたらと思います。こういった会に参加されない先生方との連携には難しさを感じます。
- 顔を見て先生方のお話が聞け参考になり、連携がとりやすくなりました。またこのように直接先生のお話しが聞ける機会があればと思います。先生のレジュメを頂きたいです。
- 訪問診療の時間や曜日、先生方の思いが分かって良かったです。今回の先生方はどのように選ばれましたか？その他の先生方で訪問診療を行っている先生方のお話も聞いてみたいです。
- 各先生方の在宅医療に係る考え、介護の現場に期待する率直なご意見などを聞くことができ、大変有意義な研修会だったと感じております。今後とも定期的な開催を期待しております。
- 宮城県下で年間300～500回開催されていた多職種連携会議がコロナ禍により20回未満しか開催されていない状況の中、オンラインミーティングを開催頂いたことに感謝いたします。連携が多少なりとも途切れがちな状況ではありますが、顔が見えることに意義があったと感じます。次回は少しでも発言できるように準備をして参加したいと思います。
- 使い方が不慣れで、ZOOMでの質問の仕方が分からなかったです。事前に質問の受付があればよかった。一部音声の聞きにくい場面もあったが、各クリニックでスライドを用意していたので現状が理解できました。多くの先生の話が一度に聞いて良かったです。
- 自治体による対応やルール之差はありますが、地域医療にご尽力されている医師の皆様のお話しは貴重なので、今後ともよろしく願います。
- 初めてZOOMでの研修会に参加しましたが、資料が見えない時があり大変困りました。
- 医師が忙しい時間の中で訪問診療を行っている現状を知ることができました。質問の中で訪問看護の報告書がありましたが、先生も目を通すがもう過去のものだとおっしゃっていました。医療・介護の世界では文書によるやり取りが煩雑で、お互いに負担が大きいです。もう終わってしまったことの報告の是非について考えさせられました。パワーポイント

の文字が読みづらく残念でした。

- 先生方の生の声を聴くことができ、大変参考になりました。今後もぜひ連携を取っていききたいと思います。
- 在宅医療を行っている先生方の考えや現状を知ることができ、大変勉強になりました。また、悩む前に相談してほしいとの先生の言葉が心に残りました。

〈医療関係者、その他〉

- 今年の1月まで在宅で往診していただきながら介護度5・身体障害1級の母を、仕事をしながら見送りました。その経験を活かせば良いなと思います。
- 先生方の考えが拝聴出来てとても良かったです。患者さんに良いアドバイスができそうです。機会がありましたらまた研修会に参加したいと思います。
- かかりつけの薬剤師として最後までお付き合いしたいと考えているが、在宅になり医師が変わることで縁が切れてしまい残念に思うことが何度となく有ります。もう少し薬剤師にも力になれることがあるように思います。
- WEBにはまだ慣れておらず、ちょっとした本音を聞くには会議室の中で本人と向かわないと難しいと思いました。
- WEB開催はコロナ感染対策のために必要な方法です。昨年までのワールドカフェ方式も様々な職種の方と意見交換できることが良いことと思っています。コロナ収束後はまた皆様とお会いして意見交換をさせて頂きたいと思っております。
- 医療職と介護職の連携体制を確立するための話し合いの場を増やしていくことが、もっと必要と感じます。
- 外来と訪問を行う先生方の話しであり、貴重な研修でした。今後の研修にも期待します。
- 岩沼市でも研修会は行ってきましたが、介護関係者中心であり医師の参加はあまりありませんでした。訪問診療をされている医師の話しは大変貴重でした。
- 先生方の考え方やスタイルなど伺うことができ参考になりました。4人の先生方の訪問は施設と個人宅数名がほとんどでしたが、個人宅で受け入れられない患者さんはどこの先生に診てもらえるのか気になりました。岡部医院のスタイルや受入れ体制なども伺いたかったです。
- 地域で在宅医療を提供している方々の現状やお考えを聴く機会を頂けて、自分なりに考える機会となり感謝します。